



区民サービス削減 負担増にストップを

積立金 約2672億円の活用こそ

「給食費無償化をすべての子に」前向き答弁

区の2100年に向けた『区民アンケート』は、選択肢が3択に限られ、生年月日まで記入しないと無効としたことなど問題が多くありました。2100年の将来を理由に、区民サービスを削減し、区民負担を増やそうという区の性急な姿勢をただしました。また、現行健康保険証の存続や環境、教育など切実な課題を取り上げ、学校給食費無償化のすべての子への拡充では、前向きな答弁がありました。

区民が決めた？ 新年度から「中サービス—中負担」 区民の意見の反映を！

区が実施した『区民アンケート』には、対象となった64万人のうち、4万6千人が回答、約8割が「中サービス—中負担」を選びました。一方で、選択肢が3択に限られ、生年月日までの記入が条件となっていたことで、回答できなかった区民が多く存在します。また、区民サービス削減の理由に、正確な予測が難しい2100年の想定を用いることも問題で、これらのあり方について区の姿勢をただしました。

マイナ保険証押し付けストップ 現行保険証の存続を

12月2日から現行保険証の新規発行停止。マイナ保険証を持っている方も、カードの暗証番号を覚えてもらえないと心配の声を寄せています。10月のマイナ保険証利用者は約16%。現行保険証の存続を国に要請するよう質しましたが、区は「利便性がある」とマイナ保険証推進を表明。

今後は、保険証と同等の「資格確認書」が保険者または区から届きます。マイナ保険証に切り替えなくても大丈夫です。また、マイナ保険証を持ち歩くのが心配な方は、区役所で解除申請をすれば、「資格確認書」が発行されます。

無料検（健）診の継続を

区の2100年に向けた方向性で無料検（健）

責任を果たすもの

などと答弁。区議団は、区民への直接の説明と意見交換の機会を設けるよう求めました。

1月末までパブリックコメント（区民意見募集）

12月に全戸配布された広報えどがわ特別号で、意見募集を実施しています。（1月31日必着）施設使用料の値上げや無料検（健）診の一部有料化、公共施設の再編整備などが示されています。率直な意見を区に送ってください。



ある医院の受付にはられたポスター

診が有料化されれば、受診率低下の恐れがあると指摘しました。区長は「有料でも江戸川区より受診率が高い自治体もある」と答弁。区民の健康を守るために受益者負担は許されません。

国保料均等割69000円の引き下げを

江戸川区の均等割は23区で最も高く、せめて子どもの均等割を半額にすべきと求めました。しかし、区長は、「一般財源からの法定外繰り入れはしない」と答弁し、区民の負担軽減の要望に全く応えませんでした。

議員報酬の増額に反対

26年ぶりに議員報酬の見直しが行われ、報酬審議会で審議されました。議長・副議長・委員長・副委員長・議員のうち、議長が減額となる以外は、全てが年額10〜20万円以上の増額提案。増額の基準については「23区の中位程度とした」と説明されました。

区民のくらしは、長引く物価高騰で厳しく、区議団のアンケートでも81%の人が「生活が苦しくなった」と回答しています。このような状況で、議員報酬を増額することは区民の理解を得られません。区民生活よりも23区の議員報酬額を基準としたことも問題で、区議団は報酬増額の条例案・補正予算案に反対しました。

区立公園のトイレ・樹木の今後

区の2100年に向けた方向性で、区立公園については「機能（遊具・手洗い所など）を整理。計画的で効率的な整備や維持管理を行う」としています。現在、区内の7割を超える公園にトイレが設置されており、保育園の園庭の代替利用もあることから、トイレの画一的な削減・集約はせず、住民・利用者の意見を聞き取ることを求めました。また、公園内の樹木を伐採する際の考え方を質しました。

区は、トイレについて

「公園改修時には事前に地域に説明し、設置の有無を検討する」とし、樹木については「原則として樹木を増やすという考えは維持する」と答弁しました。最近の公園リニューアルでは、樹木の伐採が十分知らされないこともあり、今後の区の姿勢が問われます。



西葛西の子供の広場(工事前)



西葛西の子供の広場(工事後)

学校給食費無償化の対象拡大 区内の子ども全員に支給を検討



23年9月から公立小中学校と特別支援学校の子どもの給食費が無償になり喜ばれています。国立・私立などに在籍している子にも無償化を広げるよう求めたところ、教育長は「区内に住民票をおいているすべての児童・生徒を対象にする」と明言しました。

栄養豊富でおいしい給食提供のために食材費1日単価の引き上げ

行事食や郷土料理、グリーンピースやソラマメの皮むき体験、バイキン

子どもたちにより良い学習環境を

区は、築50年を経過する小中学校71校について、少子化を考慮し、統廃合も含めた「学校施設改築の基本的な考え方」を07年にまとめました。それに基づき改築が進められ、106校あった小中学校は現在98校。改築済みが17校、工事中が6校です。

近年、資材や人件費の高騰、工期の延長などが原因で1校あたりの改築予算が高騰し、旧校舎が解体済みの2校では、入札の不調の為、工事が止まっています。今議会では、再公告にあたり、実勢価格を把握する

給食など、栄養面だけでなく食育も担う学校給食。物価高騰に栄養士さんのやりくりも限界です。区は1日の食材単価は江東5区の中でも低く、単価引き上げを求めましたが、「しっかりと考えていきたい」ときたい」という答弁にとどまりました。



ある学校の開校記念日の給食

ために、業者から見積りを徴取して当初より約40%増となる予算が計上されたため、「妥当な額」の根拠が大きな議論となりました。

区議団は、的確な予算の積み上げ、年3校改築ペースの見直し、コスト削減の工夫、建築の専門家教育委員会に配置すること等を提案しました。



改築中の下小岩小学校

毎年の猛暑、気候危機対策のさらなる推進を

日本が不名誉な5回目の「化石賞」

11月のCOP29で、日本は化石燃料依存のため、不名誉な「化石賞」を連続5回目の受賞。区は気候変動適用センターを設置したものの、NPO法人えどがわエコセンター(2004年)の活動が中心で、昨年度からの「脱炭素を目指す補助金」(太陽光パネルなど)も、年間予算約9000万円

希望者の期待に答えられていません。区議団は既存の学校や公共施設の断熱化推進、公募区民参加の区民会議開催を求めました。区は公共の建物の断熱化は「建物改修時に行う」とし、区民会議も、「現在の松江地区の勉強会の輪を広げていく、新たには設置しない」という

れも消極的な答弁。区としての対策をもっと積極的に打ち出すべきです。



えどがわエコセンター

新たに文化スポーツプラザ設置 日光林間学校は「再建」

文化・芸術・スポーツの振興を図る新たな拠点として、旧第二松江小校舎を改装し「文化スポーツプラザ」が4月1日から開設されます。

学校の施設を活用してパラスポートルームや多目的室等を設置し、校庭は「多目的広場」として使用。近隣の道路が狭く、交通の安全確保が課題です。

また、2019年に老朽化で廃校となり跡地利活用が検討されてきた日光林間学校は、学校の宿泊行事や区民利用のため再建する方向性が示されました。

新庁舎建設工事費の今後は

区は、船堀の新庁舎建設にかかる工事費を590億円(23年12月時点)としています。現在、区内では行政が関与する再開発事業で、工事費の高騰傾向が続いており、本区の間接費を質しました。

区は、構造の再検証など工事費の適正化をはかり、財源については982億円(23年度末時点)の庁舎等整備の積立金の活用を原則とすると答弁。また、「年に1回程度、工事費とスケジュールの検討状況を公表する」と明言しました。

日本共産党江戸川区議団

法律相談

各区議事務所・区議団控室では常時生活相談を受け付けています。
☎03-5662-5113 (控室)

区議団ホームページに、2019～2022年度政務活動費の領収書を掲載しています。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。



小俣 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所/小俣事務所
法律相談 ●1月8日(水)・2月12日(水)
受付:午後6時半～8時

X(旧Twitter) @omatanoriko FBは小俣のり子で検索を



大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所/大橋事務所
法律相談 ●1月8日(水)・2月5日(水)
受付:午後6時半～8時

X(旧Twitter) @OhashiMiek59844 FBは大橋みえ子で検索を



牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/牧野事務所
法律相談 ●1月30日(木)・2月17日(月)
受付:午後2時～4時

X(旧Twitter) @kenji_makino FBは牧野けんじで検索を



太田 あやか 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所/太田事務所
法律相談 ●1月16日(木)・2月20日(木)
受付:午後6時半～8時

X(旧Twitter) @jcp_oaya